

2020 年度 第 1 回 構造最適化と協創小委員会

議事録

1. 日時 2020 年 10 月 29 日(木) 15:00 ~ 16:00
2. 場所 オンライン
3. 議題 (1) 前回議事録の確認  
(2) シンポジウムの検討と準備  
(3) 今後の活動について

4. 出席者 (敬称略)

	氏 名	所 属
主査	山川 誠	東京理科大学
幹事	藤田皓平	京都大学
委員	小野聡子	近畿大学
委員	寒野善博	東京大学
委員	國光修五	ユニオンシステム
委員	笹谷真通	東京電機大学
委員	多田 聡	(株)構造システム
委員	永野康行	兵庫県立大学
委員	松尾智恵	明星大学
委員	和田大典	梓設計

欠席者 (敬称略)

委員	天野 裕	アラップ
委員	大崎 純	京都大学
委員	木村敏明	名古屋市立大学
委員	高田豊文	滋賀県立大学
委員	松本慎也	近畿大学

## 5. 討議内容

### (1) 前回議事録の確認

- ・ 前回の議事録として、前小委員会（2019 年度第 3 回委員会）の議事録について確認を行った（藤田）

### (3) シンポジウムの検討と準備

資料 3 について、シンポジウムの開催と検討に関して山川主査より説明がなされた。

- ・ 対面で行うのは難しいので、完全オンラインか、対面とオンラインをハイブリッドで行うなどの開催形式が考えられる。他の委員会の活動を見ると、「大振幅地震動に対する免震構造の設計」（講習会）や「東日本大震災から 10 年-建築振動分野の課題と展望」（シンポジウム）は、建築会館ホールで開催し、リアルタイム配信などのハイブリッドで行われている。構造形態の解析と創生 2020（コロキウム）は完全オンラインとなっている。
- ・ 時期については、これから準備をすることを考えると 2021 年 1 月以降となる。1 月にオンライン（ZOOM）で開催するというのが 1 つの案。開催形式・時期について、委員の意見を集約したい。

開催形式・時期について各委員からのコメント

- ・ ホール開催でのハイブリッド形式が望ましい（藤田）
  - ≫ 遠隔地の講演者についてホールに来てもらうのは問題ないか（山川）
- ・ ホールでの開催がよいと思うが、現況を見るとどちらがよいのか決めかねる（小野）
- ・ 対面でする方が聞きやすいし話もしやすいので、ホールでの開催がよい。オンラインで、6 時間など長くなると見る方としては辛いのではないか（寒野）
  - ≫ 他の学会で同様のケースはあるか（山川）
    - 講演者の画面を ZOOM で共有しておいて、マイクは会場という方法（寒野）
- ・ 参加者が多くなるような開催形式で、ホール開催、ZOOM での開催どちらでもよい。出張について特に問題はない（國光）
- ・ 完全に対面というのは現状で難しいので、ハイブリッド開催がよい。状況によっては完全オンラインにせざるを得ない可能性もあるが、ハイブリッドで準備しておけば対応ができる。時期については、1 月は試験や修論のまとめなどがあるので、3 月のほうがよい（永野）
  - ≫ 出張に問題はないか（山川）
    - 講演者もオンライン可能として欲しい。ホールでの講演となった場合、代理発表とする。3 月の状況にもよる（永野）
- ・ オンラインで参加する際に、時間が長いのは問題ではないかということだが、聞いている方はずっと集中しているわけでもないので特に問題はないのではないか（永野）
  - ≫ 5, 6 時間をずっと流すのはどうか。リアルタイムで同期して配信する時間を限定し、動画配信を絡めるのがよいのではないか（山川）

- ・ハイブリッド形式での開催がよい。時間については 5 時間というのは少し長いような気がする。短い時間で集中してやるか、長い時間をかけて内容を充実させるかは、参加者が増えやすいように戦略的に考える必要がある。時期については 3 月開催希望。(笹谷)
- ・ハイブリッド形式での開催がよい。県外への出張に関しては、会社に事前申請が必要であるが、東京への出張も可能。学会などでは、ハイブリッドのものと、録画したものを一定の期間配信するというものが多い(和田)
- ・ハイブリッド形式での開催がよい。他の学会では、ハイブリッドや完全オンラインなどがあり、開催の際の状況に応じて対応ができるように準備を進めるのがよい(多田)  
    ≫実務関係者は開催時期については 3 月で問題ないか (山川)  
    →3 月のほうが年度末ということで繁忙期のプロジェクトが多くなるが、興味がある人は聞きに来てもらえる。学校関係者に比べると開催時期についてはどちらでもよい (多田)
- ・ハイブリッド形式での開催に異論はない。3 月開催でも特に予定は今のところない (松尾)  
    ≫シンポジウムでの例題ではデモンストレーションなども行う予定か (山川)  
    →講演時間にもよるが、最適化のプロセスを動画で示すなど考えている (松尾)

#### シンポジウムの開催形式・時期について

- ・3 月開催の方向で調整するが、建築会館ホールが使える日は限られている。時間については、13:00~17:00 くらいでどうか。後日日程調整をする (山川)  
    ≫3 月は開催を 10 日までにしたいという事務局からの依頼があったが、建築会館ホールが使えないため、3 月中にハイブリッド形式での開催は不可能。また、4 月中旬までは建築会館ホールが使えないことから、4 月下旬から 5 月中で日程の再調整をすることとなった。11/12 までの意見集約の結果と建築会館ホールの予約状況から、5 月 11 日(火)の開催とする。(山川)

#### その他

次回委員会について、シンポジウム開催までに開催する。後日日程調整を行う。

以上